クラスだより 2026年8月の様子

すみれぐみ

この夏のプールで、もぐれるようになったり、泳げるようになり、一人ひとりできることも増えて、毎日プールを楽しんでいました。

最初のころは着替えで服を脱いで水着を着る前に水泳帽子をかぶっていたりしていたので、脱いだり着る順番を子どもたちと話をしました。 毎日の繰り返しで、着替えもスムーズになると同時に「はずかしいね」と言って下着→服→靴下と順番を考えて着替えていました。 濡れた体を拭くことも、どうタオルで拭いたらいいか、お互い声をかけあって拭いていました。「頭から拭いていくんだよ」「まだ背中拭けていないよ」と自分で拭いていくことで体、腕の使い方も学んでいました。 全部大人がしてあげると、楽で早いですが、「自分でやってみて、見てるよ」と少しずつ自分でできるよう励まし、自信へつながってくれればと思います。

きくぐみ

プールあそびでは、最初は顔がつけれなかった子も今では顔つけができるようになり、とても嬉しそうな姿が見られます。また、「わにさん歩き」をしながらみんなで作ったトンネルを通ったり、プール内をぐるぐる回り渦をつくって流れるプールをしたりと集団でも楽しみました。 個人でもけのび、ふしうきの練習もしています。 友だちがしているのを見て、「私もできるよ！」「ぼくのみてて！」と刺激を受けて「やってみたい」という気持ちが増え、苦手な子も挑戦しようとする姿が見られます。 プールが終わるとお昼寝も終了します。子どもたちの様子や、体調を見ながら無理のないよう進めていけたらと思います。ゆったりとする時間を設けながら、午後の活動にも元気に参加できるようにしていきたいと思います。

うめぐみ

楽しみにしていたプール遊びでは水に触れることを喜び保育者や友だちと一緒に思いきり遊ぶ姿が見られました。 プールの準備や着替えも最初から「できない」と言っていた子も「まずは自分でやってみよう」と頑張る姿も増えてきて衣服の着脱、片付けなど少し難しいことにも自分で挑戦しています。できた時には嬉しそうな表情を見せ、自信につながっているようです。 身だしなみ・身のまわりのことにも意識する姿も見られるようになり、服をズボンの中に入れる、椅子から立つときは、椅子を机の下に入れるなど気にして行動する様子もあります。 まだ、保育者からの声掛けや援助が必要な場面もありますが一人ひとりのペースを大切にしながら自分でできた喜びを共感できたらと思います。

もも2くみ

子どもたちはたらいやベビープールへ入って水に触れながら夏ならではのあそびを満喫しています。最初は体に水がかかるのが怖くてなかなか遊べなかった子どもたちもいました。 ですが、毎日足や手からなど少しずつ水に慣れながら過ごしていくうちに、自分から水鉄砲やジョウロを手にして遊ぶ姿やいつの間にか体にかかっても平気になっている姿に成長を感じました。 氷あそびをした時には、みんなと「氷ってどうやったら溶けるのかな？」と話をしました。すると子どもたちは自分の手で氷を持ってあたためてみたり、たらいの水の中へ入れてみたりしながら一生懸命溶かそうとしていました。自分たちで考えながら氷を溶かすことができ、新しい発見に気付けてとても嬉しそうな表情の子どもたちの姿がありました。

今ではみんな水遊びが大好きで暑さに負けず楽しく過ごすことができています。 これからもあそびや日々の活動の中で子どもたちが楽しく意欲的になれるような時間を過ごしていきたいと思います。

もも1くみ

この夏はたくさん水遊びや感触あそびを楽しみました。水遊びが始まったころは少しドキドキしながら指先でそーっと水に触れたり、控えめに水をすくって遊んでいましたが、今ではすっかり水に慣れて「キャー！」と歓声をあげながら水を頭から浴びたり、水鉄砲を友だちや保育者と一緒に飛ばしてみたりと、遊びがどんどんダイナミックになりました。

感触遊びでは色水でジュースを作って友だちと「かんぱーい」といいながら飲む真似をしてみたりカラフルな春雨の感触を楽しみながらままごと遊びをしたり・・・と様々な素材を使いました。 今後もいろいろな感触や素材で楽しく元気に過ごしていきたいです。

もも0くみ

朝の会では名前を呼ばれると嬉しそうに手を挙げる姿が見られるようになりました。お友だちの名前でも思わず手を挙げる時もあるほど朝の会を楽しみにしている子どもたちです。 また、タオルあそびではタオルを頭からかぶり音楽に合わせて「ばあ！」と顔をのぞかせる遊びを楽しんでいます。一人ひとりの「できた！」という喜びや成長した姿をたくさん感じられる毎日です。